

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書 東日本 - (195)

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	首都圏 - 1	(2)記載者氏名:	関 清	会員番号:	9732	事務局整理記入欄	山の自然学 - 1
分水嶺区分	E360三平峠 ~ E361大清水 ~ 1786m地点	(3)山行日:	2004年 6月 25日	(4)天候:	小雨		

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

大船 武彦	11802	関 清	9732	古田 寛昭	11697		
舟根 章	12323			宮川 理一	12576		
船橋 明	12407			小亀 真知子	13638		
櫛田 勤	13403						
		計	5名	計	3名		

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	6月25日 大清水 三平峠 尾瀬沼山荘 大清水 1786m地点												
アプローチ:	24日 車で戸倉・長蔵ロッジ泊、翌25日車で大清水へ												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	大清水	三平峠	139	18	17.90	36	52	38.60	1,208		5:50		
	一ノ瀬休憩所	三平峠	139	17	45.10	36	54	7.90	1,400	6:45	7:00	A-1	
分水嶺到達点E360	三平峠	三平峠	139	18	17.90	36	54	56.30	1,762	7:58	8:05	A-1	
	尾瀬沼休憩所	燧ヶ岳	139	17	57.64	36	55	26.08	1,695	8:30	8:35	A-1	
E361	大清水	燧ヶ岳	139	17	46.40	36	55	16.40	1,730	9:25	9:30	A-1	
	1786m地点	燧ヶ岳	139	17	14.00	36	55	13.50	1,786	10:30	10:40	A-1	
	(ここから引き返す)												
分水嶺離別点E360													
歩行終了点	大清水	三平峠	139	18	27.00	36	52	36.00	1,208	14:30		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												6時間13分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

大清水バス停:売店、宿泊施設あり
一ノ瀬休憩所:トイレあり
E360三平峠:標識のみ
尾瀬沼休憩所:山荘と休憩所

(9)水および植生に関連した特記事項

大清水はかつて訪れる人も少なく、トンボソウなど昔ながらの尾瀬の植物がみられる素晴らしいところであった。この度の数度の山行の中で、ほぼ全面的にシカによる踏み荒らしやヌタバとなっており、高層湿原の六千年とも八千年ともいわれる蓄積が見る影もなく痛めつけられていた。シカによる高層湿原の破壊は、人に因るオーバーユースなどは比べものならず、自然に因る自然の破壊の現実を見せ付けてくれている。その場合は、自然現象と考えるのだろうが、クマの場合などとは違ってドウもしくりこない。シカに因るオーバーユースは、つまるところ、人に因る自然の管理が下地になっているからなのだろうか。人が利用している上田代などの方が、シカが入りこまずに湿原が守られるという皮肉な結果が面白い。
--

(10)その他の特記事項

今回の山行目的は積雪期分水嶺調査のための予備調査でルート上の樹木に赤リボンを付けて来た。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: